

隔週で発行しています「置賜自給圏ニュース」



置賜自給圏のホームページに昨年10月1日から隔週でニュースを掲載しています。置賜自給圏の共同購入のカタログと共に置賜圏内の会員(一部地域除く)にはお届けしていました。置賜圏外の方もホームページでご覧頂くか、ホームページをご覧頂けない方で、配信ご希望の方にはFAXまたはメールにてお送りいたします。

新会員(団体)のご紹介や、部会、イベントの案内など盛りだくさんの内容になっています。また、会員の皆様からお寄せくださった情報も掲載していく予定です。ぜひ、ご覧下さい。

●事務局連絡先：0238-33-9355 (担当:丸山)

「置賜自給圏構想を実現する」という公約で米沢市の新市長が誕生しました!!

置賜自給圏の会員の米沢市選出の米沢市長選挙で「置賜のリーダー」として置賜自給圏の構想を実現します」と公約にうたい当選されました。

今後は期待すると共に仲間として一緒に頑張っていきたいと思います。



置賜自給圏シンボルマーク事業協賛団体・個人一覧

東北おひさま発電株式会社(長井市)、特定非営利活動法人 結いのき(米沢市)、株式会社タスクフーズ(米沢市)、株式会社 日本復興支援機構(米沢市)、株式会社 花風音(神奈川県横浜市)、焼きものダイニング花膳(米沢市)、有限会社 長谷部鉄筋(長井市)、山形鉄道株式会社(長井市)、株式会社 長井農産加工センター(長井市)、寒河江宮夫(米沢市)、山建工業株式会社(米沢市)、株式会社 米沢郷牧場(高島町)、渡部庄一(米沢市)、グルメ小僧万吉(米沢市)、小林幸子(米沢市)、株式会社ヤマラクフーズ(南陽市)、今野敏子(米沢市)、松本政裕(山形県鶴岡市)、長井中央青果株式会社(長井市)、生活クラブやまがた生活協同組合(米沢市)、味処ふる山(米沢市)、株式会社カワサキ印刷(米沢市)、株式会社 西方商店(米沢市)、おきたまラジオN P Oセンター(米沢市)、上杉城史苑(米沢市)、有限会社ミートセンタータケダ(米沢市)、おきたま温泉「湯の湯」(米沢市)、F.M.P.カンノ株式会社(高島町)、手塚隆(米沢市)、渡部務(高島町)、三木ベルテック株式会社(米沢市)、米沢食肉公社(米沢市)、株式会社大丸石油店(米沢市)、いきかえりの宿 瀧波(南陽市)、山形デザイン企画(南陽市)、株式会社プロジェクト地域活性(宮城県仙台市)、日本観光鉄道(山形県山形市)、野川壽一(南陽市)、銘菓の錦屋(川西町)、手打ちそば「けやき」(米沢市)、そば処 織匠(米沢市)、しまさき農園(南陽市)、中央会館(長井市)、江口漆器工芸(長井市)、小国ガスエネルギー株式会社(小国町)、ペレットマン(小国町)、タスパークホテル(長井市)、歌丸燦工房 塚田農園(長井市)、菅野農園(長井市)、株式会社おしょうしな企画(米沢市)、横山太吉(長井市)、株式会社最上川環境技術研究所(白鷹町)、木村家菓子店(小国町)、有限会社東部開発(小国町)、長井市役所(長井市)、株式会社 川島印刷(米沢市)、渡部五郎(高島町)、石塚農園(長井市)、田中農園 田中孝(白鷹町) 【以上59社、申込順】

【編集後記】 明けましておめでとうございます。置賜自給圏推進機構の会員が増えています。自主的に加入する方も勧められて加入する方もおられる中で、米沢市新市長の中川勝氏が会員になられました。とてもうれしいことです。シンボルマークも決定しました。赤湯の若くてフレッシュな関玖瑠未さんのデザインです。未来を感じる一コマでした。置賜自給圏の会員らの活動や事業と、推進機構の独自活動が共に社会的影響を持つようになるためにも、今年は正念場かもしれません。共に頑張りましょう。(専務理事 井上肇)

たかはた共生塾・置賜自給塾 共同開催 連続講座のお知らせ



第22回たかはた共生塾と第9回・第10回置賜自給塾が共同開催されます。

ローカルな実践、グローバルな視点で活動されている森林、エネルギーの分野から力強い実践者のお話を聞きます。

●「地域づくり」と「働き方」の新しいカタチ - 滋賀県東近江市のまちづくり -

講師：山口美智子さん(滋賀県東近江市 森と水政策課 課長補佐)

とき：2016年1月23日(土) 午後2時から
ところ：高島町総合交流プラザ 2階研修室

参加費：無料



●豊かな資源を地域に活かす

講師：佐藤彌右衛門さん(会津電力社長)

とき：2016年2月20日(土) 午後4時から
ところ：高島町総合交流プラザ 2階研修室

参加費：無料



ご協賛いただきました、皆様には心より感謝申し上げます。

発行日：2016年(平成28年)1月1日(金)
一般社団法人 置賜自給圏推進機構
〒992-0031 山形県米沢市大町四丁目5番48号
マツヤ書店ビル 3F
電話：0238-33-9355
FAX：0238-33-9354
http://www.okitama-jikyuken.com/

置賜自給圏通信 Vol.4

置賜自給圏は1周年を迎え、そして更なるチャレンジを続けていきます。ぜひ、みなさんも一緒に創りあげていきましょう!



「おきたまと育つ」

OKITAMA
JIKYUKEN
SUISINKIKOU

置賜自給圏シンボルマークが決定しました!

両代表より新年のご挨拶

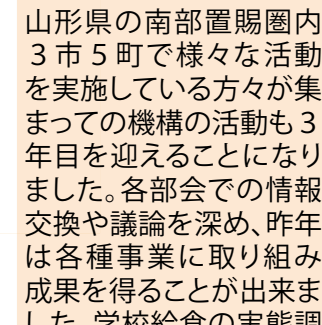
高橋幸司 (山形大学工学部教授)



置賜自給圏も3年目を迎えます。いよいよ具体的な活動を展開させる年にしたいと思います。既に会員の商品の共同購入もスタートし、学校給食における地元農産物自給率の調査も行い、シンボルマークも決定しました。さらに会員

は数・質ともに増加し、事業を推進する体制が出来上がりつつあります。皆さんの力で一層の飛躍の年にしましょう。

渡部 務 (高島有機農業提携センター)



山形県の南部置賜圏内3市5町で様々な活動を実施している方々が集まったの機構の活動も3年目を迎えることになりました。各部会での情報交換や議論を深め、昨年は各種事業に取り組み成果を得ることが出来ました。学校給食の実態調査、新生産販売実態調査等に加え、置賜産農産物の認識を深め合う事業も実施を致しました。更にシンボルマークも決定し、これを活かした事業展開が期待されます。会員皆様の更なるご支援を宜しく願います。

(写真提供：飯豊町総務企画課)

会員が370名を超えました。

置賜自給圏はおかげさまで、会員数が個人・団体を含め370名を超えました。海外や関西の方もいます。活動の原資は会員の皆さまからの会費で運営をしています。どうか皆様のご友人、知人を置賜自給圏の仲間にお誘いください。よろしく願います。

*新年度(3年目)となるのは2016年6月1日～翌年5月31日となります。



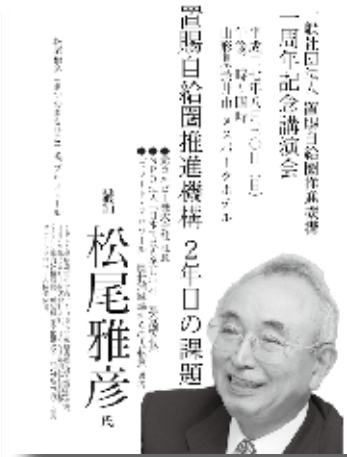
【作者より作品コンセプトの説明】

「置賜」を様々な生産物の源となる土壌ととらえ、そこから種が芽を出し育つ様子をイメージしました。作物が育つと同時に、土(置賜自身)も成長するようなイメージです。

置賜の地形をデフォルメした丸みのある可愛らしいイラストを使用しました。3市5町をイメージで色分けすることで、それぞれの個性を表現してあります。若い世代にも認知してもらいたいという思いを込めて、全体をカラフルにまとめました。

写真で振り返る置賜自給圏の2015年

置賜自給圏は1周年を迎え、今年は3年目のチャレンジです。



松尾雅彦氏の講演は、迫力のある、示唆に富んだ内容だった

8月30日(日)午後2時~の第1回社員総会、と松尾雅彦氏(NPO法人「日本で最も美しい村」連合副会長)の記念講演会は置賜のみならず日本全国から約280名のご参加をいただいた



全国の様々な団体から視察の依頼が数多くあり、写真は長井市のレインボープランの取組の説明をしている菅野芳秀常務理事



平成27年度 置賜地域薪(まき)生産・流通調査業務委託受託する調査の打ち合わせをする江口忠博常務理事と秋津ミチ子常務理事



置賜自給圏共同購入を試験的に実施、10月1日より6回置賜自給圏会員の生産物を会員に販売し、自給率をアップすることを目的に行った



舟山康江常務理事が中心となり、学校給食の実態調査を行った各自治体の担当者に調査・ヒヤリングを行い、総会で報告した



2015年3月14日羽前成田駅「恋よ来い!ホワイトデーは木造駅舎で『恋&鯉』交流会」



2015年8月1日農村文化ゼミナール & 第3回 置賜自給塾



11月11日 地域資源循環農業部会 南陽市の堆肥センター視察



食と健康部会で話をする菅野芳秀常務理事(4月21日)



置賜自給塾は昨年8回開催 高橋幸司代表のネットワークで様々な講師と出会えた



「恋とりっぷ」のワークショップは昨年4回開催され、どの回も大変活気に溢れ、参加者は皆、楽しんでた



6月11日の常務理事会の様子



食と健康部会の秋の収穫祭餅つきをし、試食した



土と農に親しむ部会の様子 毎回、長井商工会議所で行われている



11月22日23日に読売旅行の置賜ツアーで野菜の詰め放題



参加型研究所 丸山茂樹氏の講演



シンボルマーク審査委員長 赤沼明男氏



11月22日に長井市で行われた第1回「秋の収穫祭」



構想推進部会 横山太吉常務理事 シンボルマーク事業の責任者



秋の収穫祭は長井市のあやめ温泉 桜湯で開催